

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 極東開発工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7226 URL <http://www.kyokuto.com/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 和也
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経営企画部長 (氏名) 鶴目 和生 (TEL) 0798-66-1500
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	75,153	1.5	7,134	0.2	7,223	3.8	5,426	25.6
28年3月期第3四半期	74,077	5.2	7,121	12.2	6,961	8.7	4,321	15.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 6,741百万円(62.5%) 28年3月期第3四半期 4,149百万円(△14.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	136.59	—
28年3月期第3四半期	108.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	127,865	78,031	60.4
28年3月期	120,539	71,729	59.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 77,261百万円 28年3月期 71,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
29年3月期	—	16.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	18.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	1.1	10,000	△4.8	10,000	3.3	7,000	16.0	176.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	42,737,668株	28年3月期	42,737,668株
29年3月期3Q	3,009,293株	28年3月期	3,008,960株
29年3月期3Q	39,728,610株	28年3月期3Q	39,728,980株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、国内の個人消費および設備投資が底堅く推移した一方、英国のEU離脱問題や米国大統領交代の影響をはじめとした海外経済の不安定要素等により、依然として先行き不透明な状況が継続しました。

このような中、当社グループは中期経営計画 2016-18 ～Value up to the Next～（平成28年4月1日～平成31年3月31日）の初年度として、収益基盤の強化と企業品質の向上に向けた各種施策を実行しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は1,075百万円（1.5%）増加して75,153百万円となりました。損益面では、営業利益は13百万円（0.2%）増加して7,134百万円、経常利益は262百万円（3.8%）増加して7,223百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,105百万円（25.6%）増加して5,426百万円となりました。

次に連結ベースでのセグメント別の概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

①特装車事業

国内需要は引き続き高い水準で推移し、好調な物流系が牽引する一方、建設系車両の一部において回復の兆しも見受けられました。

当社グループでは物流系のトレーラ、ウイング・バンボデー、テールゲートリフタのほか、環境系のごみ収集車および脱着ボデー車を重点製品として拡販に努めた一方、生産の効率化、合理化に向けた体制の構築を進めました。

海外は、インドネシア工場において現地での需要が旺盛なミキサートラック、ダンプトラックの受注確保および生産対応を行ったほか、タイ工場においてもミキサートラックの拡販を図りました。

これらの結果、売上高は1,863百万円（2.9%）増加して65,424百万円となりました。営業利益は638百万円（11.9%）増加して6,026百万円となりました。

②環境事業

プラント建設では新規物件の受注活動を進めた結果、平成28年12月に茨城県つくば市様よりリサイクルプラント建設工事を受注いたしました。また受注済物件の建設工事と併せ、ストックビジネスとしてのメンテナンス・運転受託にも引き続き注力しました。

バイオガスプラント事業では、技術提携先のコーンズ・アンド・カンパニー・リミテッドが受注し当社も共同で建設を行った北海道興部町様の興部北興バイオガスプラントが平成28年10月に竣工したほか、同11月にはプラント設計・施工、メンテナンスを行う株式会社モリプラントの全株式を取得しグループ化（完全子会社化）するなど、事業の強化を図りました。

しかしながらプラント部門の工事進行基準売上の減少により、売上高は832百万円（13.3%）減少して5,427百万円となりました。営業利益は410百万円（38.0%）減少して671百万円となりました。

③不動産賃貸等事業

立体駐車装置は依然として厳しい市場環境の中、リニューアルやメンテナンスに注力したほか、コインパーキングは採算性重視の事業地選別および確保を図りました。

また、名古屋駅南に広がる再開発エリアである「ささしまライブ24」地区において、5階建、約400台の収容が可能な大規模立体駐車場の建設を進めました。

海外においては、インドネシアで初号機を受注した立体駐車装置の建設準備を行いました。

これらの結果、売上高は64百万円(1.4%)増加して4,818百万円となりました。営業利益は4百万円(0.5%)増加して941百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は7,325百万円(6.1%)増加して127,865百万円となりました。

流動資産につきましては、有価証券の増加等により3,483百万円(5.2%)増加して71,074百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の時価の上昇等により3,841百万円(7.3%)増加して56,790百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は支払手形及び買掛金の増加等により1,279百万円(3.5%)増加して37,763百万円、固定負債は長期借入金の返済等により255百万円(2.1%)減少して12,069百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により、6,302百万円(8.8%)増加して78,031百万円となりました。

なお、自己資本比率は60.4%(前連結会計年度末59.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また足元の業績が比較的順調に進捗していることから、現時点で入手可能な情報や予測等を勘案し、平成28年5月11日に公表いたしました業績予想及び配当予想を以下の通り修正いたします。

配当予想の詳細につきましては、本日（平成29年2月3日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成29年3月期通期連結業績予想値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （平成28年5月11日発表）	百万円 102,000	百万円 9,200	百万円 9,000	百万円 6,200	円 銭 156.06
今回修正予想（B）	105,000	10,000	10,000	7,000	176.20
増減額（B－A）	3,000	800	1,000	800	
増減率（%）	2.9	8.7	11.1	12.9	
前期実績 （平成28年3月期）	103,862	10,500	9,679	6,034	151.88

平成29年3月期通期配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 （平成28年5月11日発表）	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 32.00
今回修正予想	—	—	—	18.00	34.00
当期実績	—	16.00	—		
前期実績 （平成28年3月期）	—	15.00	—	16.00	31.00

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,531	6,258
受取手形及び売掛金	39,789	37,087
有価証券	4,081	9,600
商品及び製品	596	1,469
仕掛品	4,653	5,836
原材料及び貯蔵品	7,323	8,292
前払費用	399	532
繰延税金資産	1,452	1,035
その他	811	1,012
貸倒引当金	△49	△49
流動資産合計	67,591	71,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,147	11,521
機械装置及び運搬具(純額)	4,129	4,852
土地	20,106	20,586
建設仮勘定	481	316
その他(純額)	1,010	1,315
有形固定資産合計	36,875	38,592
無形固定資産		
その他	541	568
無形固定資産合計	541	568
投資その他の資産		
投資有価証券	13,691	15,779
長期前払費用	444	395
繰延税金資産	53	52
その他	3,929	2,131
貸倒引当金	△2,587	△729
投資その他の資産合計	15,531	17,629
固定資産合計	52,948	56,790
資産合計	120,539	127,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,950	26,044
短期借入金	2,960	3,489
1年内返済予定の長期借入金	1,791	1,655
未払法人税等	2,274	429
未払消費税等	870	546
未払費用	3,711	2,078
引当金	1,175	1,875
その他	749	1,642
流動負債合計	36,483	37,763
固定負債		
長期借入金	4,141	3,242
長期預り保証金	2,745	2,580
退職給付に係る負債	1,154	910
引当金	196	197
繰延税金負債	3,400	4,395
その他	687	743
固定負債合計	12,325	12,069
負債合計	48,809	49,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,718
利益剰余金	46,946	51,019
自己株式	△2,149	△2,150
株主資本合計	68,415	72,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,683	5,321
為替換算調整勘定	△59	△231
退職給付に係る調整累計額	△373	△315
その他の包括利益累計額合計	3,250	4,774
非支配株主持分	64	769
純資産合計	71,729	78,031
負債純資産合計	120,539	127,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	74,077	75,153
売上原価	58,466	59,022
売上総利益	15,611	16,130
販売費及び一般管理費	8,490	8,995
営業利益	7,121	7,134
営業外収益		
受取利息及び配当金	242	282
為替差益	—	53
雑収入	68	51
営業外収益合計	310	387
営業外費用		
支払利息	62	65
持分法による投資損失	275	166
為替差損	70	—
雑支出	62	65
営業外費用合計	471	298
経常利益	6,961	7,223
特別利益		
固定資産売却益	7	6
投資有価証券売却益	—	1
その他	3	—
特別利益合計	11	7
特別損失		
固定資産処分損	34	61
投資有価証券評価損	—	16
創立記念関連費用	135	—
その他	30	13
特別損失合計	201	91
税金等調整前四半期純利益	6,771	7,139
法人税等	2,444	1,814
四半期純利益	4,326	5,324
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△101
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,321	5,426

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,326	5,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	1,638
為替換算調整勘定	49	△169
退職給付に係る調整額	△26	57
持分法適用会社に対する持分相当額	△114	△109
その他の包括利益合計	△177	1,416
四半期包括利益	4,149	6,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,144	6,953
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	63,547	6,259	4,271	74,077	—	74,077
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	1	482	498	△498	—
計	63,561	6,260	4,754	74,576	△498	74,077
セグメント利益	5,387	1,081	936	7,406	△285	7,121

(注) 1 セグメント利益の調整額△285百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△290百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	65,413	5,426	4,313	75,153	—	75,153
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	1	505	517	△517	—
計	65,424	5,427	4,818	75,670	△517	75,153
セグメント利益	6,026	671	941	7,638	△504	7,134

(注) 1 セグメント利益の調整額△504百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△507百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。